

\*\*\*\*\*

## そもそも「ファシリテーター」とは？

\*\*\*\*\*

**「ファシリテーターとは、チームのコミュニケーションを活性化し、  
チーム活動を通して、チームの一体感とメンバーの成長をもたらす人」**

「ファシリテーター」という言葉を聞いて、単なる会議の進行役というイメージをお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

会議での結論や研修での学びを促進することも役割の一つですが、さらに、チームの一体感とメンバーの成長をもたらすことこそが、ファシリテーターの役割だと思います。

では「ファシリテーターの具体的な役割」とはなんのでしょうか。

「ファシリテーター」という言葉を聞いて、単なる会議の進行役というイメージをお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

会議での結論や研修での学びを促進することも役割の一つですが、さらに、チームの一体感とメンバーの成長をもたらすことこそが、ファシリテーターの役割だと思います。では「ファシリテーターの具体的な役割」とはなんのでしょうか。

- 1・コミュニケーションを活性化する
- 2・チームの一体感を促進する
- 3・メンバーの成長を促進する
- 4・チームの状況を観察し、働きかける

**= そう、「促進する人」なのです**



そして、その「促進する人としての役割」のためには、

どのようなスタンスを身に付けていけばいいのでしょうか。

プレスタイムが考える、「**ファシリテーターに必要な素養**」は以下の5つです。

- 1・素直に話し、聴くスタンス
- 2・様々な考え方を受け入れ合うスタンス
- 3・学びにつなげるスタンス
- 4・チームの状況を観察し、働きかけるスタンス
- 5・チーム活動の目的を定め、プロセスを想定する力

ファシリテーターのこの素養は、職場のリーダー・マネージャーはもちろん、職場のメンバーそれぞれに必要な素養とも言えます。

なぜなら、普通の職場のコミュニケーションの活性化こそが、良いチーム・良い議論を生み出す源になるからです。

ファシリテーターの素養を学ぶことは、“人とのよりよい関わり方を学ぶこと”とも言えます。

ぜひ、プレスタイムの『ファシリテーター講座』で、グループワークの体験からこの“5つの素養”を学んでみませんか？